

令和4年度シラバス (公民)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	公民(現代社会)	単位数	2単位	学年(コース)	5学年
使用教科書	実教出版『高校現代社会 新訂版』				
副教材等	第一学習者『新版 最新現代社会資料集 2022』、とうほう『ニューコンパスノート現代社会 2022』				

1 学習目標

1. 現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。
2. 現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。
3. 自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 世の中で起こっている事象に対して自ら興味関心を持ち、考えることができる。
- ② ニュースを見たり新聞を読んだりして、現代社会で生じている諸問題について理解し、課題を解決する方法が見つげられる。
- ③ 様々なメディアを通じて情報を獲得し、的確に活用・判断できる。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	私たちと現代社会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会 ・国際化 ・情報化社会 ・青年期 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会を説明する用語の意味がわかる。 ・現代社会の諸問題について、課題を見つけ解決しようとする。 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・課題考査 ・提出物
5 6	私たちの生活と政治	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法と人権 ・日本の平和主義 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法をめぐる問題について捉えることができる。 ・日本の平和主義や憲法の意義についてまとめることができる。 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・提出物
7 8 9		<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治と政治参加 ・暮らしを支える地方自治 ・国の政治のしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治や国の政治の仕組みについて区別できる。 ・財政や地方自治に関わるデータを収集し、活用できる。 ・民主政治や地方自治の意義について理解している。 	18	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題考査 ・提出物
10 11 12	私たちの生活と経済	<ul style="list-style-type: none"> ・消費と家計 ・社会保障と財政 ・労働 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活に関する問題について、公正に判断できる。 ・経済に関する用語などについて理解している。 	20	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・提出物
1 2 3	私たちの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域紛争 ・環境問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会をめざす世界の潮流に関心を持ち、行動できる。 ・現代社会の抱える諸問題について理解し、説明できる。 	14	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題考査 ・提出物

計 70 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

- ・問題集
- ・課題作文

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 of 技能	知識・理解
現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断することができる。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 ・評価シート などから、総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

「現代社会」は、主権者として社会を形成していくための基礎・基本を身につけるための科目です。前期課程の『社会』で身につけた知識を思い出ししながら、基礎事項をしっかりと理解し、考える力をつけてください。

(担当：小原沢公啓)